

令和 8 年度第 2 回芽室町総合計画審議会評価専門部会（B グループ）議事録

令和 8 年 8 月 7 日（水）18:30～19:30

芽室町役場 地下会議室 5・6

■出席委員（7 名）

津本委員、今田委員、片桐委員、川合委員、佐藤委員、西川委員、野崎委員

■欠席委員（3 名）

黒田委員、

（書面提出有り）櫻田委員、村山委員

健全な財政運営

○質問

委員

滞納税額や人数はどうか。

松田課長

滞納額は国保を除き 1,900 万円程度である。

委員

経常収支比率、実質交際費比率の部分で、庁舎建設やプール建設など、建物について触れているが、経費の減価償却について、定率法や定額法あるがどのように処理しているか。

中田補佐

町は単年で歳入がどれだけあって、歳出がどれだけあるかで行っている。

したがって、減価償却の考え方が無いものである。

しかし、複式簿記に直したものを作成しており、ホームページで公表している。

有澤課長

貸借対照表や、損益計算書の方が分かりやすい人が多いと思う。現在国も複式簿記にできないかと議論が始まっている。

経常経費が大きくなる理由としては、負担の平準化を行っているためである。

負担の平準化とは、例えば施設等を建築した場合、単年の税金で支払うと、後年時に使用する方は負担が無いことになってしまう。そういったことが無いように平準化して支払うことである。

これにより、後年度の経常経費が増えてしまう。

○評価

委員 D

委員 D

委員 D

委員 D

委員 D

委員 D

委員 D

委員、委員 D

○今後の取り組みに対する意見

委員

5施策の課題認識に「事業の取捨選択が必要であり、真に住民にとって必要な事業を見極め実施」とあるが、見極めるについて基準や、取捨選択の基準を住民に説明、公開を行わなければ、住民理解も得られないし、住民も事業要望ができないと考える。

委員

将来負担比率が 66%とかなり低いことから、将来にわたって投資するものについては、超長期で調達するなどの工夫をしてはどうか。

担い手育成と農業の応援団づくり

○質問

委員

担い手部会とはどういったものか。

大浦係長

芽室町農協、指導農業士、役場、農業委員会で組織している。

新規就農の相談を行う組織である。

問い合わせはあるが、現状、農地が無いことが多く、あきらめる方が多い。

それでも就農を希望する方の相談を行うために組織された。

○評価

委員 D

委員 D

委員 D

委員 D

委員 D

委員 D

委員 D

委員 D

委員 C成果指標①③が伸びていることから判断。

○今後の取り組みに対する意見

委員

担い手部会の件について、将来に向けて管外の第3者などとのマッチングも必要ではないか。今後も農業者が規模拡大していくとは限らないため、就農希望のマッチングなども積極的に行っていくといいのではないか。

大浦係長

今後担い手不足は、発生する可能性はある。

北海道の担い手センターとも協力しながら進めていきたい。

委員

学校の給食について、地産地消等進めていると思うが、触れていない理由は。

河井

別施策である学校教育の充実で触れているため、載せていない。

農業生産性の向上と経営基盤支援

○質問

委員

施策の方針、意図の欄に「本町農業・農畜産物の理解を促進し」や「地元農畜産物のPRと

販路拡大」について、具体的にどういったことを行ったのか。

大浦係長

P Rについては、魅力創造課と取り組む部分が多い。近年は墨田区との連携を行っている。他には、全国食育大会などのイベントも参加し、販路拡大につながっているもの考える。

委員

消費者協会の調査部で地元の農畜産物の加工しているもの調べている。芽室の食材でどういったものが作られ販売しているか。2年後の生活展で紹介したいと考えている。

昔、東京で生活していて音更町に住んだ方がいて、音更町は知らなかったが、芽室町は知っているという方がいた。

東京の地下鉄で、めむろ産マチルダの広告が多くあって知ってくれた人が居た。宣伝を頑張ったと思う。

消費者協会も地産地消で、まずは芽室町の人に知ってもらおうと取り組んでいる。

○評価

委員 C

委員 C

委員 C

委員 C

委員 C

委員 C

委員、委員 C

委員 D

農業産出額が増加しているが、単価が上がっているだけと感じている。

農業振興センターの営農指導で上がったとは判断できない。

なので、維持と判断した。

○今後の取り組みに対する意見

委員

生産利益を成果指標にする検討をお願いしたい。

委員

芽室町のアンテナショップはあるか。

委員

芽室町農協としてアンテナショップ現状はない。

昔はおこなったが撤退した経緯がある。ホクレンの施設にアンテナショップはあるが、北海道の J A を期間ごとに順番で行うものはある。

農地・土地改良施設等の整備・充実

○質問

委員

農業用水施設、土地改良施設などの日々の修繕依頼の通報システムとはどういったものか。

佐々木係長

公式 L I N E を用いた通報システムである。封筒など印刷し、周知を図っている。

○評価

委員 C

委員 C

委員 C

委員 C

委員 C

委員 C

委員 C

委員、委員 C

○今後の取り組みに対する意見

なし

地域林業の推進

委員

森林環境譲与税とはどういったものか。

大浦係長

森林の維持管理に使う作業道や、木材を使用した物品などに使えるものである。

委員

所有者所在不明について、法律等で整備されたはずだが。

大浦係長

登記について進んでいる印象である。

○評価

委員 D

委員 D

委員 D

委員 D

委員 D

委員 D

委員、委員 D

委員 C

町民への森林イベント成果指標高水準であることから判断。

○今後の取り組みに対する意見

委員

5 施策の課題認識にある、公園木製遊具や建具について芽室公園に建築する新施設にぜひ使ってほしい。

特にビジターセンターなどにも使っていただきたい。

大浦係長

必要に応じて使っていきたい。